

リンゴ中生種 ‘北斗’

研究のねらい

‘国光’に替わる晩生種を育成する。

研究の成果

選抜理由：‘スターキングデリシャス’に替わる品種として選抜された。

組み合わせ：‘ふじ’×‘陸奥’

交配年次：1970年（昭和45年）

登録年次：1983年（昭和58年）2月

樹の性質：樹勢は強く、樹姿は両親の間である。3倍体品種のため、授粉樹には使えない。斑点落葉病には‘ふじ’よりやや弱く、黒星病には‘ふじ’並に弱い。

収穫時期：10月中下旬

果実特性：果実は350gと大きく、果形は円形、果色は紅色で薄い縞が入る。果汁が多く、果肉は硬く、ち密で、食味は甘く、芳香がある。しかし、着色や食味にばらつきが多いこと、果肉の軟化、心かび病やつる割れ、貯蔵やけが陽向面に発生するなど問題がある。貯蔵性は冷蔵で1月末頃までである。



発表資料

1. 石山正行（1991）. 果樹主要品種解説. 日本果樹種苗協会.
2. 山田三智穂編（1981）. リンゴ 日本と世界の品種. 青森県りんご協会. 追録.
3. 山田三智穂ら（1987）. リンゴ新品種‘夏緑’・‘北斗’について. 青森りんご試報 24：1-14.